

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目 標	意 見	修正（案）、考え方など
1	1 修正	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	エネルギー消費量や温室効果ガス排出量のデータが2014年度が最新のものとなっていますが、2015、6年度のデータはないのでしょうか。これらのデータなしには、最近の傾向等の判断がしにくいように思います。	資料1-2の3ページの※1に記載のとおり、エネルギー消費量の算出は統計データ集約の関係により2年遅れとなっております。また、審議会においては、年度ごとの進捗状況を評価していただくこととなっております。なお、書き出し部分に違和感を覚えるというご意見を踏まえ、文頭に以下の記載を追記します。 【追記案】 最新の平成26年度（2014年度）のエネルギー消費量については、・・・。
2			平成28年度の評価（案）あるのに、「平成26年度（2014年度）のエネルギー消費量については、…」の書き出しは違和感を覚える。エネルギー消費量については、平成26年度データまでしかないのであるから、ここ数年の全般的な趨勢から、平成28年度の状況を予測した書き方にすべきである。	
3			書き出し部分に違和感を覚える。 「26年度の・・・は」とくれば、次は「27年度の・・・」を期待するが記述がない。 であれば、平成23年度以降を総括した表現にするか、丁寧(前述)に説明するか、又は、削除し、別の表現を考える…………	
4	2 追加	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	第3パラグラフの3行目で「とりわけ業務部門の削減が重要であり」とされているが、「家庭部門」については、H28年度は前年度比-3.7%で業務部門より削減率は小さく家庭部門の削減も重要であり、その旨記載した方が良いのではないかと。	ご意見のとおり、家庭部門も重要であると認識していますが、最もエネルギー消費量の割合が大きい業務部門に着目した記載としています。なお、より分かりやすい表現にするという観点から、14行目を以下のとおり修正します。 【修正案】 ・・・取組を加速させることが求められています。とりわけ市域で最もエネルギー消費量の割合が大きい業務部門の削減を進めるためには、 <u>公共施設において、エネルギー消費量の大幅な削減に向け、・・・。</u>

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目 標	意 見	修正（案）、考え方など
5	2 追加	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	<p>エネルギー消費量、温室効果ガス排出量等のH32年度目標達成が極めて困難なため、本文の最後の2行で、「吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）」において定められた施策について、具体的な施策を記載した方が良いのではないかと。</p> <p>例えば、5つの重点対策から、「省エネルギー機器の導入促進や再生可能エネルギーの利用促進などの施策を積極的に取り組んでいく必要があります。」と追記する。第3パラグラフの記述とダブルが、目標達成の施策の方が重要であり、第3パラグラフの記述を簡素化した方が良いのではないかと。</p>	<p>「吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）」において定めた施策につきましては、目標達成に向けた効果的な施策を網羅的に記載したものと なっています。</p> <p>このため、エネルギー消費量、温室効果ガス排出量等の平成32年度の目標達成に向けては、省エネルギー機器の導入促進や再生可能エネルギーの利用促進だけでなく、「吹田市地球温暖化対策新実行計画（改訂版）」において定めた全施策の取り組みを進めていくことが重要であると考えておりますので、原文のままとさせていただきたいと思 います。</p>
6	4 その他	1 限りあるエネルギーを大切に使う低炭素社会への転換	<p>再生可能エネルギーの導入は、目標に向けて順調に進んでいるよう で、評価できる結果です。さらに取り組みを強化することも可能 です。しかし、これらの結果とエネルギー消費量や温室効果ガス排出量の結果との関連性が、上記（NO.1～3）の ことにより検討できないのは残念ですし、今後の方針も出しにくくなっ ています。</p>	<p>市域における太陽光発電システム導入件数及び設備容量の数値は、これま での太陽光発電システムの導入の大半が固定価格買取制度（FIT）を 利用したものであること及び自家消費の導入状況を把握する方法がない ことから、資源エネルギー庁が公表している固定価格買取制度（FIT） を利用したものの数値を引用しています。このため、本指標の結果とエ ネルギー消費量や温室効果ガス排出量の結果との関連性は検討できない ものとなっています。</p>
7	1 修正	2 資源を大切にす る社会システムの形成	<p>「マイバッグの持参率が微増、リサイクル率は3年減少」 → 「目標達成が極めて困難な状況」と述べた後に「一定の効 果が表れている」というストーリーに違和感がある。</p> <p>4行目後半から6行目にかけての記述は不要ではないかと。</p>	<p>ご意見を踏まえ、4行目後半からを以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】</p> <p>・・・困難な状況となっています。市民・事業者の排出者としての意 識の向上や、事業者によるマイバッグ持参率向上のための取組が行われ ているところですが、目標達成に向け、今後さらにこれらの取組を進め るためには、更なる市民・事業者の意識の向上を図る必要があります。 具体的には・・・。</p>
8	2 追加	2 資源を大切にす る社会システムの形成	<p>P1ではマイバッグに関する話が中心となっていますが、 本市においては地域自治会、子ども会等が熱心に廃品回収に 取り組んでおり、7行目以下の「具体的には・・・」以下に 「地域自治会等の廃品回収」を追加してはどうでしょうか？</p>	<p>ご意見を踏まえ、7行目後半「具体的には・・・」に以下の文言を追 記します。</p> <p>【修正案】</p> <p>具体的には、廃棄物減量等推進員制度の活用による雑がみ等の資源ご みの分別排出の徹底、再生資源集団回収の活性化や溶融スラグの資源化 促進を図ること、・・・進めていく必要があります。</p>

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目 標	意 見	修正（案）、考え方など
9	4 その他	2 資源を大切に作る社会システムの形成	「ごみの排出量」、「マイバック持参率」、「リサイクル率」について、混在した書き方になっている。個別にどうであったか、分けて記載した方が解りやすい。	「マイバック持参率」及び「リサイクル率」はそれぞれが「ごみの排出量」と関連しているため、これらをまとめて書かせていただきたいと考えております。
10	2 追加	4 みどりを保全・創出・活用し、市民に親しまれるまちの形成	人口が増加している以上、一人当たりの都市公園面積は減少する。人口増加に合わせて、都市公園を増加させる政策なのか、それとも現状の報告なのか。みどりの基本計画にもとづく緑化の推進の中身についても記載する必要がある。	市民1人当たりに対する都市公園面積については、目標達成に向けて取組を進めていくものですが、本指標の評価については現状をお示ししているものです。 また、吹田市第2次基本計画改訂版におきましては、本分野の各指標を掲載しており、環境審議会にて評価をいただいておりますが、施策の進行管理につきましては、吹田市第2次みどりの基本計画改訂版において行うこととしております。
11	2 追加	重点プロジェクト	評価案の記述もそうであるが、実績欄に、もう少し、市内市民環境団体の実績などを精査し、適宜それらを記述することが必要ではないでしょうか。アジェンダ、くるくるプラザ以外の記述が少ないように思える。	重点プロジェクトにおける環境パートナーシップ（連携・協働）の推進等についてのご意見かと思いますが、市と連携・協働して実施している事業について記載をしておりますので、原文のままとさせていただきたいと思います。
12	4 その他	重点プロジェクト	内容については、特に追加や修正はないが、見やすさの観点から、5つの対策を項出した方が良いのではないかと。 ①地球温暖化対策 ②ヒートアイランド対策 ・ ・ ・	ご意見を踏まえ、項出しするように修正します。

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目 標	意 見	修正（案）、考え方など
13	1 修正	重点プロジェクト	P3の11～12行目に関して11行目と12行目は下記のように別々の文にした方が、まとまりが良いと思いますが、いかがですか？ 11行目「今後も引き続き・・・蓄熱抑制化にも努めます。」 12行目「いずれも長期的な・・・求められています。」	ご意見を踏まえ、11行目と12行目を以下のとおり修正します。 【修正案】 今後も引き続き・・・蓄熱抑制化に努めるなど、長期的な視点に立った・・・
14	2 追加	重点プロジェクト	昨年から能勢町と連携し、生物多様性に関する取組みが開始されていると思います。新たな環境パートナーシップの推進となる事業であると思いますので、例えば資料1-2の②への記載と資料1-1の審議会評価への記載をしてはどうでしょうか。	ご意見のとおり、平成28年度から能勢町と連携した地域循環共生圏の形成に向けた取り組みを開始しておりますので、資料1-2のP5の②に以下のとおり記載いたします。 【平成28年度の実績】 環境省による「平成28年度地域循環共生圏構築に向けた実証地域における活動団体の公募」に、本市と能勢町を活動地域とする特定非営利活動法人大阪自然史センターの提案が採択された。森里川海の適正な管理と活用による「地域循環共生圏」の構築に向けて、農林業支援を通じた生物多様性の保全や人材育成等に関する取り組みを始めている。 【自己評価】○ 【担当室課の見解など】 平成30年度までの事業期間に、街と里のつながりを通じて、地域循環共生圏の構築に向けた様々な取組を実施していく。 【担当室課】環境政策室 そのうえで、資料1-1のP3の17行目に以下の文章を追記します。 【追記案】 また、新たに本市と能勢町を活動地域とする森里川海の適正な管理と活用による「地域循環共生圏」の構築に向けて、取り組みが開始されています。
15	2 追加	その他	（平成28年度…実績集約・自己評価） 4P：限りあるエネルギーを・・・ （1）代表指数 いずれも27年度が抜けている。28年度も評価されているならば 数値の記載が欲しい処ですが・・・ （他は、数値が記載されているので・・・）	資料1-2の3ページの※1に記載のとおり、エネルギー消費量の算出は統計データ集約の関係により2年遅れとなっております。 なお、より分かりやすくするという観点から、資料1-2の4ページの代表指標の見解の欄の下部に資料1-2の3ページの※1の記載を追記します。

No.	意見種類 1 修正 2 追加 3 削除 4 その他	目 標	意 見	修正（案）、考え方など
16	1 修正	その他	資料1-2の「近年の環境情勢について」で国連サミットで「持続可能な開発目標 SDGs」が採択されたことにも触れておいてはいかがでしょうか。	<p>ご意見を踏まえ、資料1-2のP1「近年の環境情勢について」の6段落目を以下のとおり修正します。</p> <p>【修正案】 <u>その他、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals:SDGs）」を中核とする「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が平成27（2015）年9月に、150を超える加盟国首脳の参加のもと、ニューヨーク・国連本部で開催された国連サミットで採択されています。</u> 環境行政の究極の目標である持続可能な社会を実現するためには、気候変動への対処（低炭素社会の形成）のほか、持続可能な消費と生産（循環型社会の形成）、海洋及び陸域生態系の保全（自然共生社会の形成）を目指す必要があり、私たちのライフスタイルや事業活動の転換が強く求められています。</p>
17	4 その他	その他	最近、新電力会社を設立する自治体等が増加しています（近隣では、泉佐野市、滋賀県湖南市等）。ドイツ等では、シュタットヴェルケ（自治体公社）で電力等の事業が急増し始めています。これらは、エネルギーの地産地消により、地域の新たな発展につながる可能性があります。吹田市でも検討してみてもいかがでしょうか。	新電力会社を設立する自治体等の存在は把握しておりますが、電力の調達等に課題があると考えていますので、慎重に検討していきたいと考えています。